

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年2月27日

【評価実施概要】

事業所番号	0172000945		
法人名	有限会社 Human-Effort		
事業所名	グループホーム 自由の樹		
所在地	小樽市最上1丁目36番4号 (電話) 0134-33-0330		
評価機関名	(有)ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成21年2月26日	評価確定日	平成21年3月25日

【情報提供票より】 (21年2月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成18年1月10日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	17人	常勤	14人、非常勤 3人、常勤換算 14.6人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000円	その他の経費(月額)	光熱水費 27,000円 暖房費(11~3月) 7,000円
敷金	有(35,000円)・無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有()円 無	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	250円	昼食 400円
	夕食	500円	おやつ 100円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(2月26日現在)

利用者人数	18名	男性	4名	女性	14名
要介護1	3名	要介護2	3名		
要介護3	10名	要介護4	2名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 83歳	最低	66歳	最高	93歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	三ツ山病院、朝里病院、おたる港南クリニック、おきつ歯科、野口整形外科
---------	------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

福祉に思い入れのある運営者が、3棟目として3年前に開設したホームです。「願いごと」を叶えてくれると伝説のある天狗山を背景に、四季折々を身近に感じられる環境が、暮らしに彩りを添えています。玄関先のベンチで、利用者は行き交う方々と挨拶や会話を楽しみ、小さな社交場となっています。介護に専念できる環境整備の下、「利用者の笑顔が見たい」との職員全員の思いが随所に表れ、質の高いケアサービスを継続している「グループホーム自由の樹」です。

【重点項目への取組状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回の評価では、改善課題はありません。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) ユニット毎に、職員の意見を反映させた自己評価の取り組みが行なわれています。その中で改善事項を把握し、解決策を図っています。
	②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 地域に開かれたサービスとして、質の確保を図るうえで運営推進会議の重要性を認識し、ホームの活動報告、感染症対策、自己・外部評価の公表、地域交流のあり方などを協議しています。
重点項目	③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族からの要望や意見は、運営推進会議や来訪時、電話などで、些細なことでも受け止め、改善に向け取り組んでいます。玄関に意見箱を設置し、外部の苦情窓口も紹介しています。
重点項目	④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 近所の方々への挨拶はもとより、近隣の高校の職業体験受け入れ、保育園児との交流、ほかのグループホームとの交流、町内会行事への参加、夏祭りにはホーム前に神輿が立ち寄っていただくなど、自然な交流が、さらに深まっています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員全員で、利用者の心に寄り添った5項目からなるケア理念を作成し、その中に「挨拶ができる地域交流」の文章を掲げています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は理念の意義を十分理解し、申し送り時、ミニカンファレンス、さらにネームプレートの裏面に理念を貼付するなど、常に確認を繰り返しながら、日々のケアサービスに取り組んでいます。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近所の方々への挨拶はもとより、近隣の高校の職業体験受け入れ、保育園児との交流、ほかのグループホームとの交流、町内会行事への参加、夏祭りにはホーム前に神輿が立ち寄っていただくなど、自然な交流が、さらに深まっています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ユニット毎に、職員の意見を反映させた自己評価の取り組みが行なわれています。その中で改善事項を把握し、解決策を図っています。		

小樽市 グループホーム 自由の樹

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域に開かれたサービスとして、質の確保を図るうえで、運営推進会議の重要性を認識し、ホームの活動報告、感染症対策、自己・外部評価の公表、地域交流のあり方などを協議しています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政の担当者とは、ホームの運営に向けての相談や助言をいただき、サービスの質の向上に取り組んでいます。地域包括センターの職員にもホームに訪問していただき、さらに連携強化を図っています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ホームの活動報告は毎月の広報誌で報告し、さらに、利用者の心身の状態や金銭出納も郵送で伝えています。利用者の体調変化などは、その都度電話で詳細に知らせています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族からの要望や意見は、運営推進会議や来訪時、電話などで、些細なことでも受け止め、改善に向け取り組んでいます。玄関に意見箱を設置し、外部の苦情窓口も紹介しています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営法人内の異動は、職員と利用者は相互訪問などで馴染みの関係にあり、混乱はありません。離職が発生した場合は、2週間の引継ぎ期間を設け、利用者の不安を取り除く配慮をしています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修委員による年間の内部研修計画が立案され、職員はスキルアップに向け、自己研鑽に励んでいます。外部研修も、習熟度に応じた参加促進のみならず、自発的参加も多く、勤務体制の配慮や研修費もホーム負担にするなど、向上心に繋がる支援を行なっています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会の研修に加え、ほかの業者と見学などの交流はありますが、今後は、相互訪問の取り組みにより、質の高いサービスを目指しています。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用開始前にホームからの訪問、さらに利用者や家族に見学していただき、生活歴や趣味など情報収集し、職員全員の共有としています。職員の寄り添いや家族の協力もいただき、徐々にホームに馴染めるよう配慮しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は人生の先輩としての利用者に、常に敬意を持って接し、喜びや不安を分かち合い、家族として支え合いながら、生活を共にしています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の思いや意向は、センター方式や日々の係わりの中で情報収集し、その人らしい暮らしが維持できる取り組みが行なわれています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族の意向を把握し、サービス担当者会議には、家族の参加や、医師からの診療情報提供書をもとに、利用者一人ひとりに合ったきめ細やかな介護計画を作成しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヵ月毎の定期見直しに加え、利用者の心身の状態変化時は、関係者と検討を重ね、適切な介護計画の見直しが図られています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の意向を踏まえ、利用時の引越し手伝い、受診、理・美容室同行、外泊や法要時の送迎、ふるさと訪問、居室での家族の宿泊支援など、ホームとして最大限の支援を行なっています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用以前のかかりつけ医への受診はもとより、24時間対応の協力医療機関による定期的な往診、週3回の看護師による健康チェックが行なわれ、各々の連携体制も整っており、利用者の健康管理は適切に支援されています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用開始時に、利用者や家族に重度化や終末期に向けた指針を説明し、同意書を得ています。看取りも、受け入れ体制を取っており、それに向けて、職員は知識や技術の習得に努めています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用開始時に個人情報同意書をいただいて、個人記録など適切に管理しています。職員は、秘密保持の徹底を図り、言葉かけに気を配り、面会簿はカード式にし、入浴は同性介助に配慮したりと、利用者の尊厳を損ねることがないように心掛けています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の体調や気分により、その日の起床、食事、入浴、外出時間など、利用者の意思を尊重した支援をしています。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の支度や味付け、盛り付け、食事、後片付けを共にし、季節感ある食器や食材に気を配り、食事時間は一家団欒の雰囲気を醸し出しています。時には利用者の希望による食材選びや、誕生日などの行事食が楽しみ事の一つになっています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回の入浴日を設けていますが、利用者の希望する曜日、時間は柔軟に対応しています。入浴を拒む方には、清拭、足浴、声かけなどで、清潔保持に努めています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の得意分野を、生活歴で把握し、掃除、畑の手入れ、ゴミ捨て、手すりの消毒、新聞とチラシの仕分け、除雪などの役割を担っていただき、充実感に繋がる支援をしています。外出行事（花見、潮祭、花火大会、サクランボ狩りなど）や、夕食後の表情はとても晴々としています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	その日の天候や、利用者の心身の状態を考慮し、散歩やドライブ、草取り、洗濯物干し、玄関前のベンチでの日光浴などで、五感を刺激できる支援を行なっています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	防犯上、夜間のみ施錠していますが、日中は職員のさり気ない見守りの下、利用者は自由に外出を楽しんでいます。不意の外出時には、ハイヤー会社や近所の方々に協力をいただける体制が取られています。		

小樽市 グループホーム 自由の樹

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の指導の下、年2回、日中・夜間想定 の避難訓練を行なっています。災害時の集 合場所も家族に伝えていますが、夜間や寒冷期 の一時避難場所の確保や、町内会の協力体 制、災害備蓄品の取り組みは、まだ十分とは 言えません。	○	今後、災害時の一時的避難場所として協力 医療機関や町内会館への協力依頼、町内会 とホームの相互の協力体制の確立、災害備 蓄品の整備を検討していますので、実行に 向けての取り組みに期待します。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日 を通じて確保できるよう、一人ひとりの 状態や力、習慣に応じた支援をしている	食材と献立表（カロリー、塩分値記載）は、 業者から届けられ、栄養バランスに富んだ食 事を提供しています。毎食の食事摂取量や水 分量は記録し、職員全員の共有としていま す。現在は、普通食ですが、今後のレベル低 下による食事形態を念頭に入れています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台 所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者 にとって不快な音や光がないように配慮 し、生活感や季節感を採り入れて、居心 地よく過ごせるような工夫をしている	採光を十分に取り入れた窓や清潔感ある共有 空間で、利用者が思い思いの場所でゆったり と過ごしています。季節毎の花々、旬の食 材、四季折々の作品や外出行事での笑顔満載 の写真を壁面に飾っています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や 家族と相談しながら、使い慣れたものや 好みのものを活かして、本人が居心地よ く過ごせるような工夫をしている	利用者の安心感に繋がる慣れ親しんだ、家具 や調度品が配置されています。仏壇や趣味の 品々、家族写真などが、生活に潤いを与えて います。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。